



# 2025年10月 モンゴル経済概況

日本貿易振興機構（ジェトロ）

調査部

2025年10月



# 目次

## I. 基礎情報

1. 概況
2. 政治体制
3. 主要経済指標

## II. 最近の動向

1. 最近の政治・経済動向
2. GDP・実質成長率の推移

## III. 生産

1. 名目鉱工業生産の推移
2. 貨物輸送量

## IV. 貿易・投資

1. 貿易の推移
2. 主要輸出入品目
3. 主要輸出相手国・地域および輸出額
4. 主要輸入相手国・地域および輸入額

5. 日本との貿易概況（対モンゴル輸出）
6. 日本との貿易概況（対モンゴル輸入）
7. 日モEPAの実績
8. 主要国・地域別対内直接投資額
9. 主要国・地域別直接投資企業数
10. 主要業種別直接投資企業数
11. 日本からの直接投資概況
12. 日本企業の事業展開事例

## V. 物価・為替レート

1. 物価（インフレ率）
2. 対ドル・対円の為替レート

## VI. 財政・金融

1. 歳入・歳出の推移
2. 貸出残高
3. 貸出金利
4. M2の推移
5. 外貨準備高

# I. 基礎情報

# 1 | 概況

|      |                                        |
|------|----------------------------------------|
| 国名   | モンゴル国                                  |
| 面積   | 156万4,100平方キロメートル                      |
| 人口   | 354万4,835人（2024年末現在、国家統計局）             |
| 首都   | ウランバートル（176万8,151人）（2024年末現在、国家統計局）    |
| 民族   | モンゴル人（全体の95%）およびカザフ人等                  |
| 言語   | モンゴル語（公用語）、カザフ語                        |
| 宗教   | チベット仏教等（1992年2月施行の新憲法は信教の自由を保障）        |
| 通貨   | トゥグルク（100トゥグルク=約4.09円）<br>※2025年8月7日現在 |
| 主要産業 | 鉱業、牧畜業、流通業、軽工業                         |

## 2 | 政治体制

|      |                                      |
|------|--------------------------------------|
| 政 体  | 共和制（大統領制と議院内閣制の併用）                   |
| 元 首  | オフナー・フレルスフ 大統領<br>(2021年6月25日就任)     |
| 首 相  | ゴンボジャブ・ザンダンシャタル 首相<br>(2025年6月13日就任) |
| 議 会  | 国家大会議<br>(一院制、定数126、任期4年)            |
| 与 党  | 人民党、フン党、国民の勇気・緑の党の3党連立               |
| 行政区分 | 21県、1特別行政区                           |

### 3 | 主要経済指標

(△はマイナス値)

| 指標          | 単位     | 2024年通年 |         | 2025年1～6月 |           |
|-------------|--------|---------|---------|-----------|-----------|
|             |        | 金額/指標   | 前年比 (%) | 金額/指標     | 前年同期比 (%) |
| 実質GDP       | %      | -       | 5.1     | -         | 5.6       |
| 名目GDP       | 兆トゥグルク | 80.0    | 13.5    | 40.3      | 8.8       |
| 1人当たり名目GDP  | ドル     | 6,898   | 14.8    | 未公表       | -         |
| 貿易総額        | 億ドル    | 274.0   | 12.1    | 121.1     | △8.7      |
| 輸出額         | 億ドル    | 157.8   | 3.9     | 65.8      | △16.6     |
| 輸入額         | 億ドル    | 116.1   | 25.5    | 55.3      | 2.8       |
| 鉱工業生産額      | 兆トゥグルク | 38.0    | 5.0     | 18.6      | △2.8      |
| インフレ率 (注2)  | %      | 9.0     | 1.1PP   | 8.2       | 3.6PP     |
| 失業率 (注3)    | %      | 5.9     | 0.6PP   | 4.5       | △1.3PP    |
| 対ドルレート (注2) | トゥグルク  | 3,418   | △0.1    | 3,577.7   | 5.8       |
| 対円レート (注2)  | トゥグルク  | 22.2    | △6.4    | 24.8      | 15.5      |
| 財政収支        | 億トゥグルク | △9,202  | -       | △7,580    | -         |
| 貸出残高 (期末)   | 兆トゥグルク | 37.0    | 33.1    | 42.5      | 26.9      |
| M2 (期末)     | 兆トゥグルク | 43.3    | 15.2    | 43.0      | 3.7       |
| 外貨準備高 (期末)  | 億ドル    | 55.1    | 12.0    | 52.1      | 7.6       |

(注1) 2025年の1人当たり名目GDPは未公表。

(注2) インフレ率、為替レートは月次 (2024年12月、2025年6月) のデータ。

(注3) 失業率は2024年通年、2025年4～6月のデータ。

## Ⅱ. 最近の動向

# 1 | 最近の政治・経済動向（1）

- OECDがモンゴルのリスク評価を1段階改善。
- OECDのカントリーリスク専門家会合は、6月27日付でモンゴルのカントリーリスク分類を「7」から「6」に1段階引き上げた（改善した）と発表した（注1）。
- これを受けて日本貿易保険（NEXI）は6月30日、モンゴルの国カテゴリーをHからGに引き上げると発表した。7月7日からの適用となった。これにより、モンゴル向けの貿易において、2年未満の貿易一般保険および貿易代金貸付保険（いずれも包括保険、ユーザンスは12カ月）の上限枠が5億円から20億円に引き上げられた。また、これまで引き受けられなかった限度額設定型貿易保険が、10億円までの条件付きで引き受け可能になった。また、輸出手形保険の枠も5,000万円から2億円に引き上げられた。
- 国際協力銀行（JBIC）も7月4日に「OECD輸出信用ガイドラインに基づくリスクプレミアム適用に係る国カテゴリー」について、モンゴルの国カテゴリーを従来の7から6に変更したと発表した。アジア・オセアニア地域では、カンボジア、ネパール、パプアニューギニア、バングラデシュ、東ティモール、ブータンと同ランクとなった。国カテゴリーが引き上げられたことにより、融資条件〔CIRR金利、融資金額の上限、融資期間、返済方法など〕や手数料、必要書類などがこれまでより緩和されるとしている。

（注1）OECDのカントリーリスクは、「7」が最もリスクの高い等級とされており、数字が小さくなるにつれて信用度が高くなる。

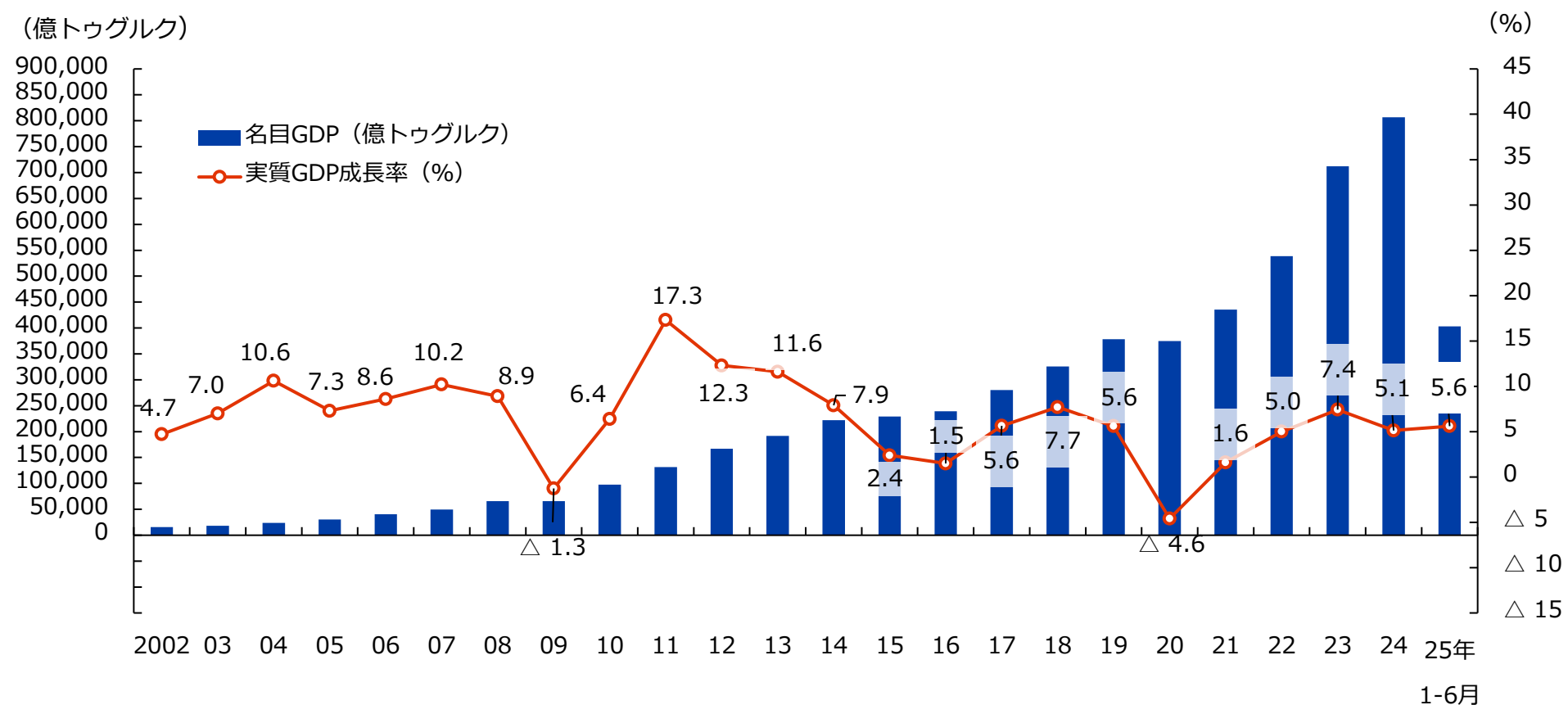
# 1 | 最近の政治・経済動向（2）

- 前首相の辞任を受け、ザンダンシャタル新内閣が発足。
- モンゴルにおいて、ロブサンナムスライ・オヨーンエルデネ首相が辞任し、新首相にゴンボジャブ・ザンダンシャタル氏が就任、新内閣が6月17日に発足した。
- ザンダンシャタル新首相は、就任後の所信表明演説の中で、前政権の掲げた政策・事業を継続して実施することを表明した一方、一部の鉱物資源に過度に依存している現在のモンゴル経済が深刻な課題に直面しているとの認識を示し、そのために政府は無駄な支出を削減し、財政規律の原則を堅持するとした。また、経済の安定、国民所得と生活水準の向上、あらゆるレベルでの国家の強靱（きょうじん）性の構築、人材育成と就労支援、年金・社会保険基金改革を新政権の優先政策に掲げた。
- ザンダンシャタル新首相は6月17日、国会に新閣僚名簿（添付資料表1参照）を提出し、国会の承認を受けた。民主党が連立から離脱したため、閣僚ポストは22から19に減少し、人民党から16人、フン党から2人、国民の勇氣・緑の党から1人が入閣した。前内閣（2024年7月25日記事参照）からの留任は8人、閣内異動は2人、新入閣は9人で、うち女性閣僚は2人、日本に留学経験がある閣僚は4人となった。

ジェトロ「ビジネス短信」添付資料参照

## 2 | GDP・実質成長率の推移

- 2025年1-6月の実質GDP成長率は前年同期比5.6%だった。
- 2025年第2四半期（4～6月）の季節調整済みの前期比実質GDP成長率は1.6%だった。
- 2025年1-6月の名目GDPは前年同期比8.8%増の40兆3,072億トゥグルクだった。



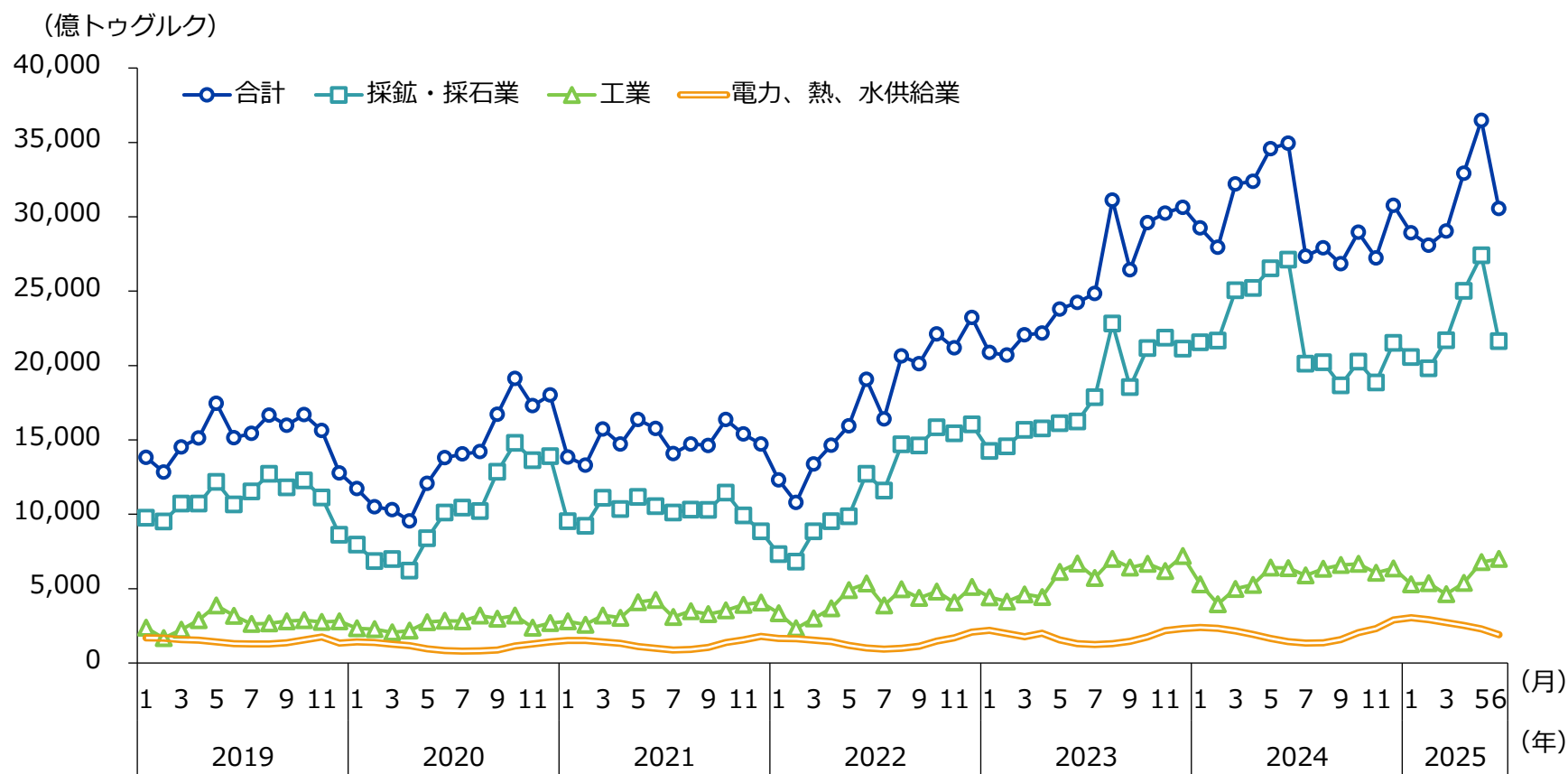
(注) 2024年は暫定値、2025年は速報値。

(出所) 国家統計局

## Ⅲ. 生産

# 1 | 名目鉱工業生産の推移

- 2025年6月における鉱工業生産額は、前年同月比2.8%減の18兆5,988億トウグルクとなった。
- 2025年6月は採鉱・採石業が7.5%減、工業が6.7%増、電力、熱、水供給業が29.7%増加した。

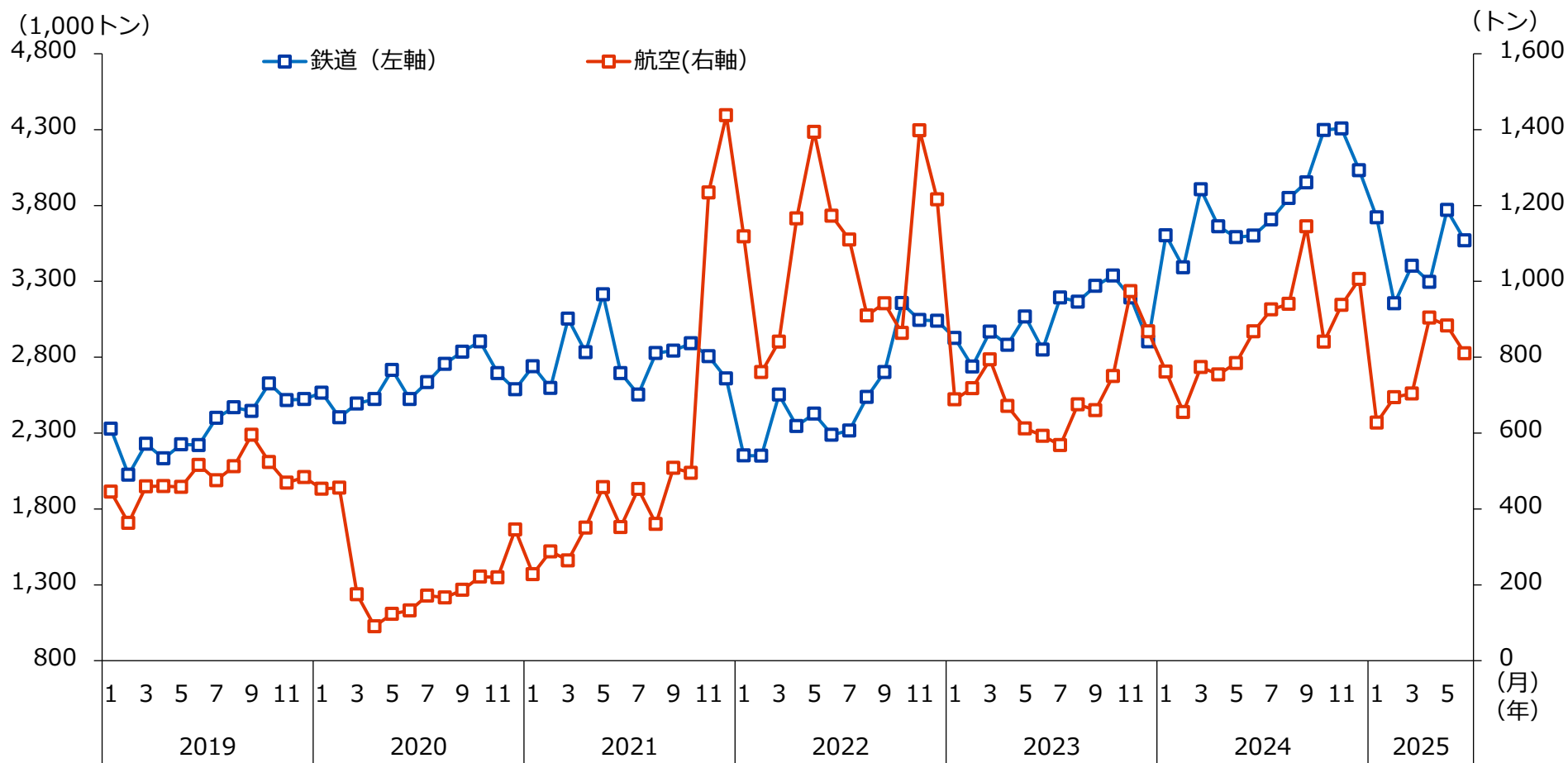


(注) 2024年、2025年は速報値。

(出所) 国家統計局

## 2 | 貨物輸送量

- 2025年1～6月における鉄道貨物輸送量は前年同期比3.9%減の2,091万トン、航空貨物輸送量は0.6%増の4,624トンだった。



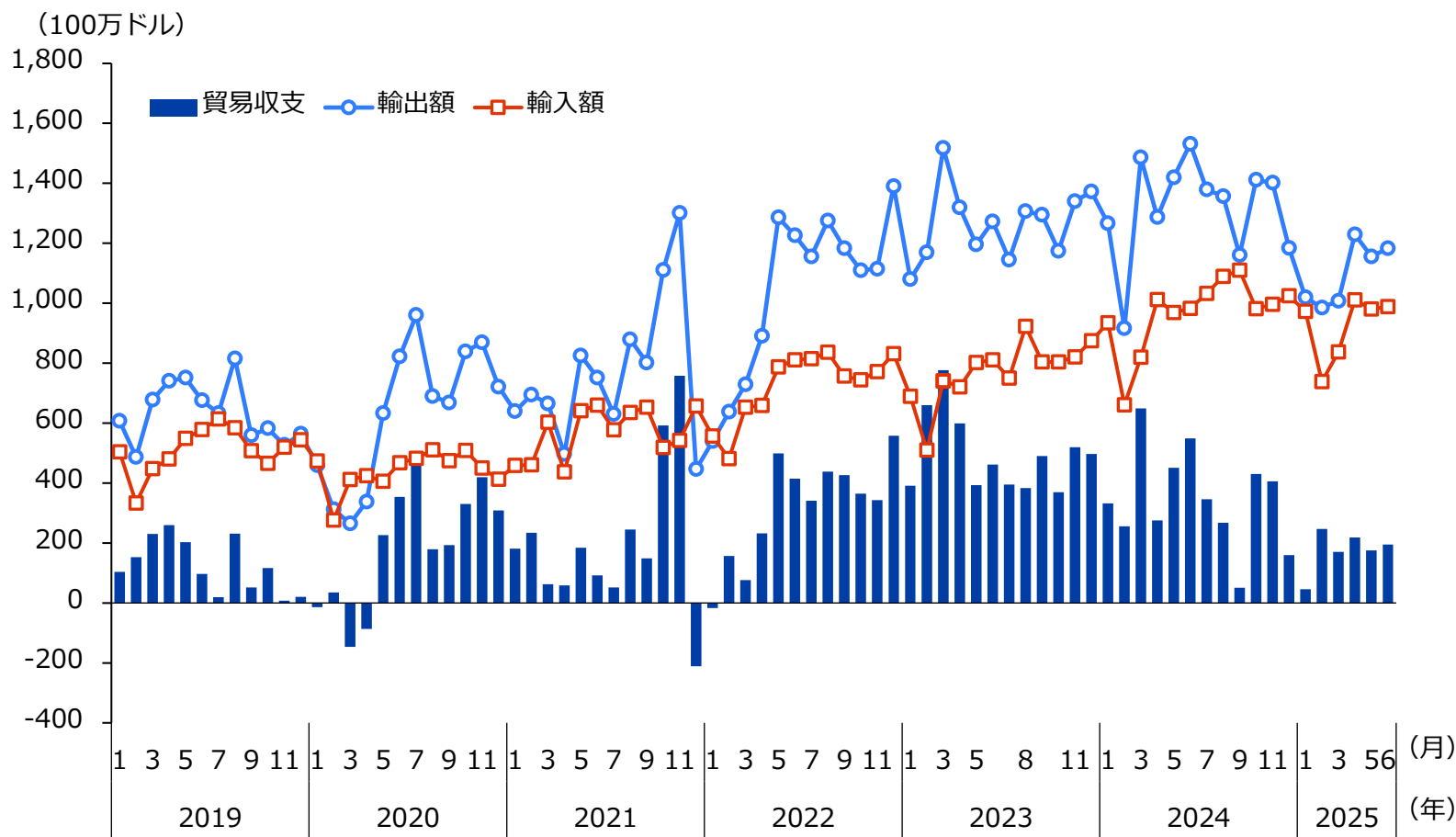
(注) 2024年、2025年は速報値。

(出所) 国家統計局

## IV. 貿易・投資

# 1 | 貿易の推移

- 2025年1～6月における貿易総額は、前年同期比8.7%減の121億960万ドルとなった。  
うち、輸出額は16.6%減の65億8,140万ドル、輸入額は2.8%増の55億2,820万ドルとなった。
- 貿易収支は10億5,320万ドルの黒字（黒字額は前年比58.1%減）だった。



(注) 2025年は速報値。  
(出所) 国家統計局

## 2 | 主要輸出入品目

- 主要輸出品目である鉱物のうち、石炭が前年同期比43.9%減、銅精鉱が61.7%増となった。
- 主要輸入品目では、鉱物が6.4%減、うちガソリンが8.4%減、ディーゼルが6.0%減だった。

(単位：100万ドル) (△はマイナス値)

| 品目               | 2023年    | 2024年    | 2025年1-6月 | 前年同期比 (%) |
|------------------|----------|----------|-----------|-----------|
| 輸出               | 15,186.9 | 15,783.4 | 6,581.4   | △ 16.6    |
| 鉱物               | 13,146.5 | 13,769.8 | 5,813.6   | △ 17.1    |
| 石炭               | 8,898.5  | 8,698.0  | 2,652.8   | △ 43.9    |
| 銅精鉱              | 2,625.7  | 3,319.1  | 2,352.3   | 61.7      |
| 卑金属およびその製品       | 123.0    | 153.2    | 91.6      | 35.1      |
| 皮革および毛皮並びにこれらの製品 | 4.8      | 3.3      | 0.5       | △ 70.4    |
| 生地およびその製品        | 451.2    | 404.1    | 64.5      | △ 69.3    |
| 石、人造石、貴金属および宝石   | 762.0    | 912.5    | 416.6     | 15.0      |
| 輸入               | 9,250.2  | 11,612.5 | 5,528.2   | 2.8       |
| 食料品              | 698.4    | 864.3    | 425.4     | 11.2      |
| 鉱物               | 2,140.3  | 2,444.6  | 1,124.5   | △ 6.4     |
| ガソリン             | 522.5    | 643.2    | 284.0     | △ 8.4     |
| ディーゼル            | 1,110.0  | 1,296.0  | 610.3     | △ 6.0     |
| 卑金属およびその製品       | 860.9    | 959.2    | 487.3     | 5.2       |
| 自動車およびその部品       | 1,681.4  | 2,432.2  | 1,229.0   | 9.1       |
| 機械器具、電気製品        | 1,760.1  | 2,521.6  | 1,137.2   | 0.6       |

(注) 2025年は速報値。

(出所) 国家統計局

### 3 | 主要輸出相手国・地域および輸出額

- 2025年1～6月における主要輸出相手国・地域のうち、輸出額1位の中国は前年同期比17.4%減、構成比は91.6%（前年比0.3ポイント上昇）となった。

（△はマイナス値）

| 国・地域名  | 2023年           |            | 2024年           |            | 2025年1～6月       |            |            |
|--------|-----------------|------------|-----------------|------------|-----------------|------------|------------|
|        | 金額<br>(1,000ドル) | 構成比<br>(%) | 金額<br>(1,000ドル) | 構成比<br>(%) | 金額<br>(1,000ドル) | 伸び率<br>(%) | 構成比<br>(%) |
| 合計     | 15,186,897      | 100.0      | 15,783,395      | 100.0      | 6,581,393       | △ 16.5     | 100.0      |
| 中国     | 13,903,230      | 91.5       | 14,406,010      | 91.3       | 6,030,130       | △ 17.4     | 91.6       |
| スイス    | 666,312         | 4.4        | 744,975         | 4.7        | 342,196         | 0.4        | 5.2        |
| 韓国     | 126,443         | 0.8        | 52,560          | 0.3        | 15,287          | △ 26.8     | 0.2        |
| ロシア    | 112,710         | 0.7        | 100,614         | 0.6        | 29,473          | △ 46.6     | 0.4        |
| イタリア   | 98,995          | 0.7        | 59,630          | 0.4        | 16,271          | △ 34.0     | 0.2        |
| シンガポール | 8,558           | 0.1        | 10,417          | 0.1        | 6,104           | △ 15.7     | 0.1        |
| 米国     | 36,554          | 0.2        | 166,397         | 1.1        | 76,129          | 333.9      | 1.2        |
| イラン    | 34,900          | 0.2        | 66,251          | 0.4        | 4,040           | △ 82.4     | 0.1        |
| 台湾     | 26,485          | 0.2        | 428             | 0.0        | 144             | 33.2       | 0.0        |
| カザフスタン | 22,021          | 0.1        | 6,802           | 0.0        | 1,925           | 18.7       | 0.0        |
| その他    | 150,692         | 1.0        | 169,311         | 1.1        | 59,694.1        | △ 36.7     | 0.9        |

（注） 2025年は速報値。

（出所）モンゴル税関庁

## 4 | 主要輸入相手国・地域および輸入額

- 2025年1～6月における輸入額は前年同期比2.8%増となった。主要輸入相手10カ国のうち、1位の中国と2位のロシアで約3分の2を占める。日本は3位で12.7%を占めている。

(△はマイナス値)

| 国・地域名 | 2023年           |            | 2024年           |            | 2025年1～6月       |            |            |
|-------|-----------------|------------|-----------------|------------|-----------------|------------|------------|
|       | 金額<br>(1,000ドル) | 構成比<br>(%) | 金額<br>(1,000ドル) | 構成比<br>(%) | 金額<br>(1,000ドル) | 伸び率<br>(%) | 構成比<br>(%) |
| 合計    | 9,250,248       | 100.0      | 11,612,494      | 100.0      | 5,528,227       | 2.8        | 100.0      |
| 中国    | 3,749,714       | 40.5       | 4,640,651       | 40.0       | 2,108,255       | △ 3.4      | 38.1       |
| ロシア   | 2,386,277       | 25.8       | 2,824,793       | 24.3       | 1,306,070       | △ 4.2      | 23.6       |
| 日本    | 716,335         | 7.7        | 1,175,018       | 10.1       | 703,701         | 36.5       | 12.7       |
| 韓国    | 415,160         | 4.5        | 482,344         | 4.2        | 239,400         | 8.0        | 4.3        |
| 米国    | 280,803         | 3.0        | 535,182         | 4.6        | 226,742         | 18.5       | 4.1        |
| ドイツ   | 211,359         | 2.3        | 255,108         | 2.2        | 138,084         | 23.3       | 2.5        |
| ベトナム  | 114,805         | 1.2        | 114,934         | 1.0        | 62,039          | 18.9       | 1.1        |
| トルコ   | 95,906          | 1.0        | 112,386         | 1.0        | 44,348          | △ 14.4     | 0.8        |
| ポーランド | 94,381          | 1.0        | 104,060         | 0.9        | 45,557          | 6.4        | 0.8        |
| フランス  | 93,429          | 1.0        | 135,674         | 1.2        | 41,474          | △ 27.7     | 0.8        |
| その他   | 1,092,078       | 11.8       | 1,232,345       | 10.6       | 612,556.7       | 4.2        | 11.1       |

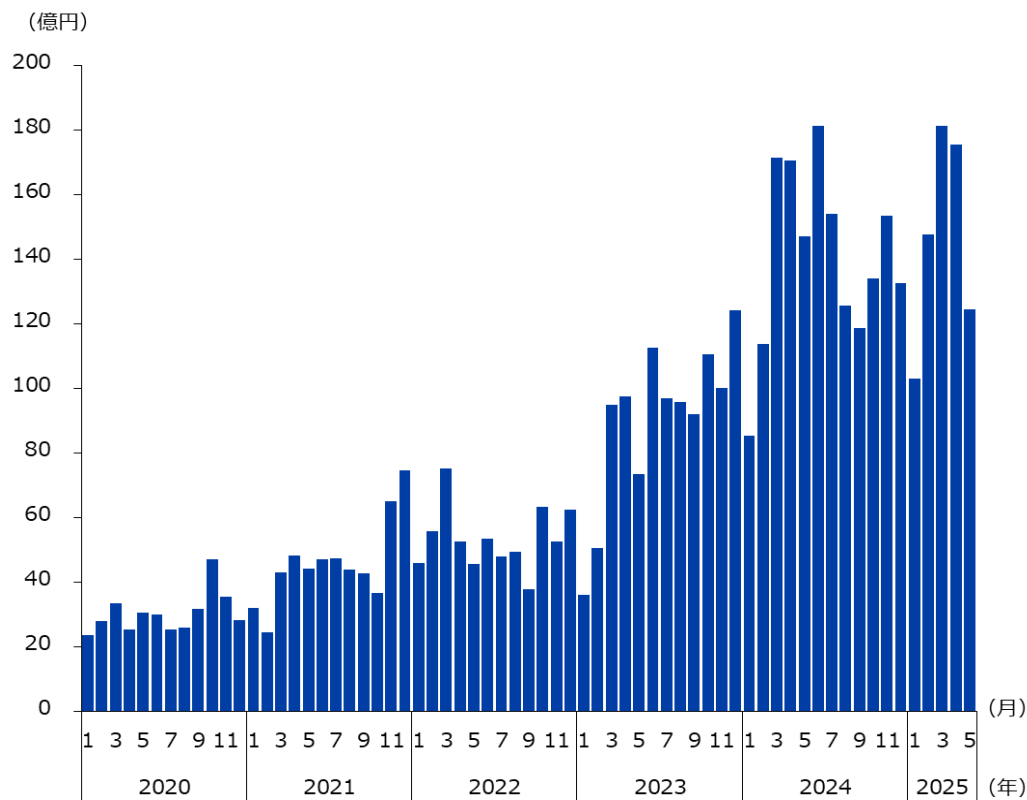
(注) 2025年は速報値。

(出所) モンゴル税関庁

## 5 | 日本との貿易概況（対モンゴル輸出）

- 貿易額について日本側の統計をみると、2025年1～5月における日本の対モンゴル輸出は前年同期比6.4%増の約731億円となった。
- 主要品目別では、自動車が588億7,022万円で最も多い。

### 日本の対モンゴル輸出額推移



(出所) 財務省貿易統計（日本）

### 主要輸出品目

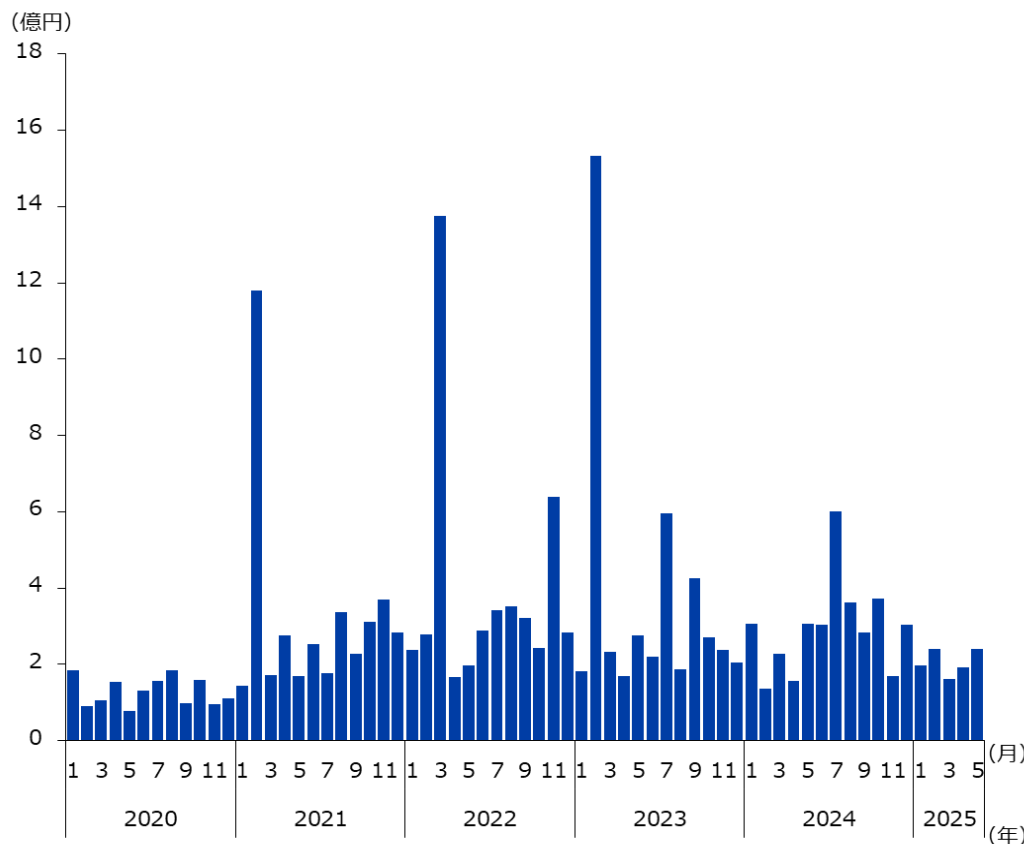
| 順位 | 品目（概況品コード）                 | 金額                         |
|----|----------------------------|----------------------------|
| 1  | 輸送用機器（705）<br>うち自動車（70503） | 611億5,047万円<br>588億7,022万円 |
| 2  | 一般機械（701）                  | 45億2,261万円                 |
| 3  | ゴム製品（603）                  | 20億329万円                   |
| 4  | 再輸出品（901）                  | 16億738万円                   |
| 5  | 精油・香料及び化粧品類（509）           | 6億5,682万円                  |

(出所) 財務省貿易統計（日本）

## 6 | 日本との貿易概況（対モンゴル輸入）

- 貿易額について日本側の統計をみると、2025年1～5月における日本の対モンゴル輸入は前年同期比9.1%減の約10億円となった。

### 日本の対モンゴル輸入額の推移



(出所) 財務省貿易統計（日本）

### 主要輸入品目

| 順位 | 品目（概況品コード）       | 金額        |
|----|------------------|-----------|
| 1  | 粗鉱物（213）         | 3億8,721万円 |
| 2  | 金属製品（617）        | 1億2,450万円 |
| 3  | 非鉄金属（615）        | 1億2,028万円 |
| 4  | その他の動植物性原材料（217） | 1億1,496万円 |
| 5  | 織物用糸および繊維製品（609） | 8,720万円   |

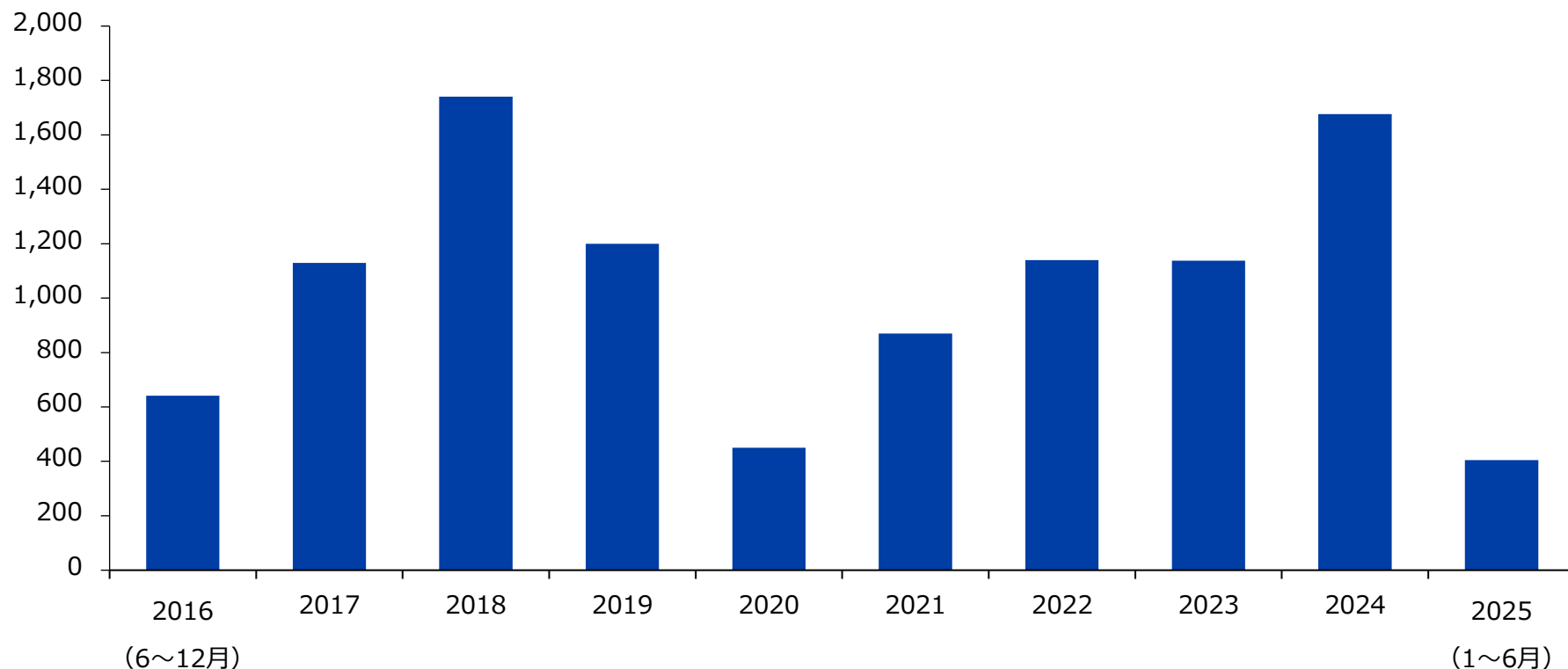
(出所) 財務省貿易統計（日本）

## 7 | 日モEPAの実績（1）

- 2016年6月のEPA発効以降2018年まで、モンゴルから日本向け免税対象品目（注：銅精鉱・瀝青炭を除く）の輸出は増加していたが、2020年は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大もあり、モンゴルから日本へのEPA適用輸出は大きく減少した。2021年から2024年にかけては新型コロナ禍以前の水準には及ばないものの回復した。2025年1～6月は前年同期比37.6%減だった。

（100万円）

日モEPA適用輸出額（モ→日、年次）

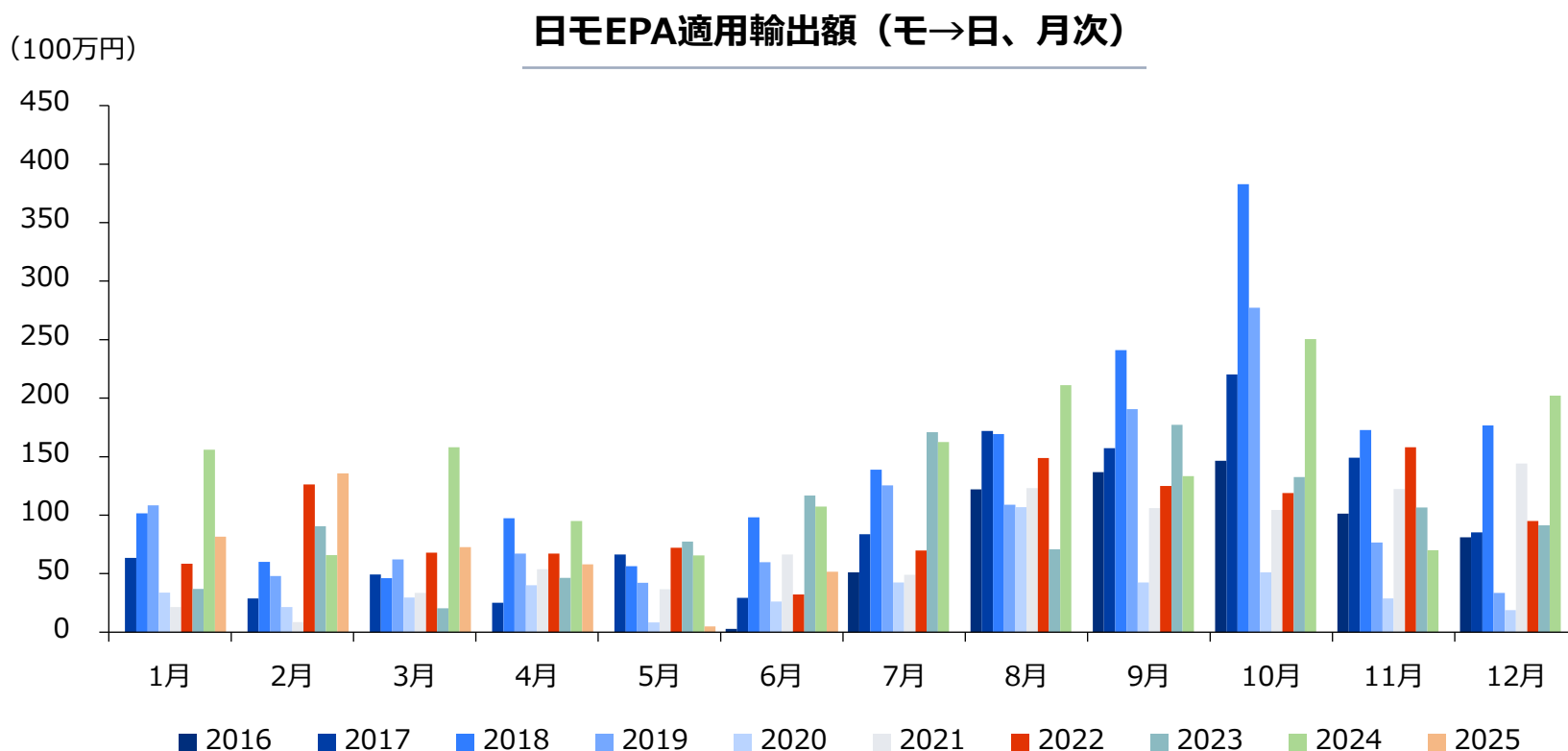


（注）2016年は6～12月、2025年は1～6月の数値。

（出所）財務省貿易統計（日本）

## 7 | 日モEPAの実績 (2)

- 日モEPA適用輸出額を月別にみると、下半期に羊毛・カシミア製品の日本向け輸出が増加するため、例年下半期に増加する傾向にあり、9月から10月にかけてピークとなる。
- 2023年後半以降、単月ではコロナ前の水準を上回る月もあり、回復傾向がみられる。



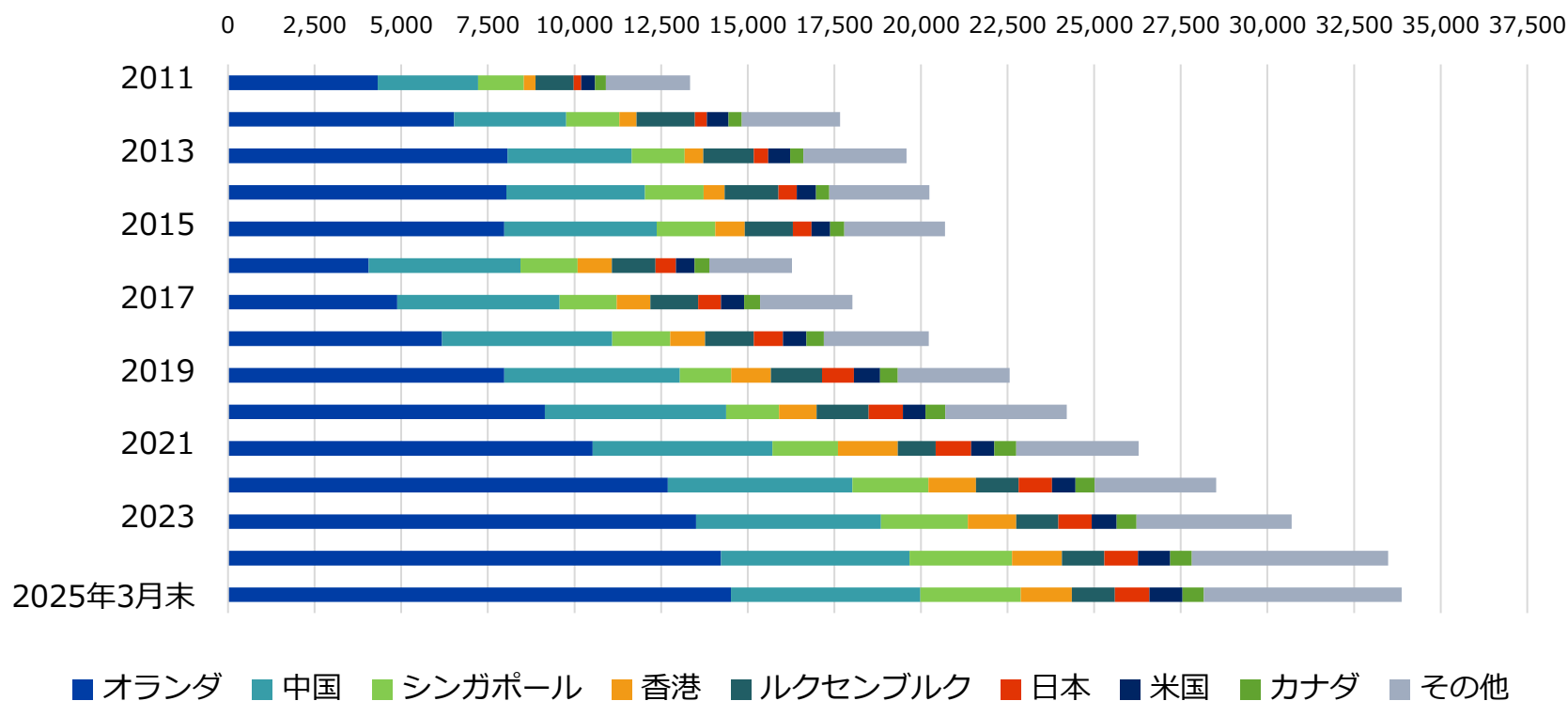
(注) 2016年は6～12月、2025年は1～6月の数値。

(出所) 財務省貿易統計（日本）

## 8 | 主要国・地域別対内直接投資額

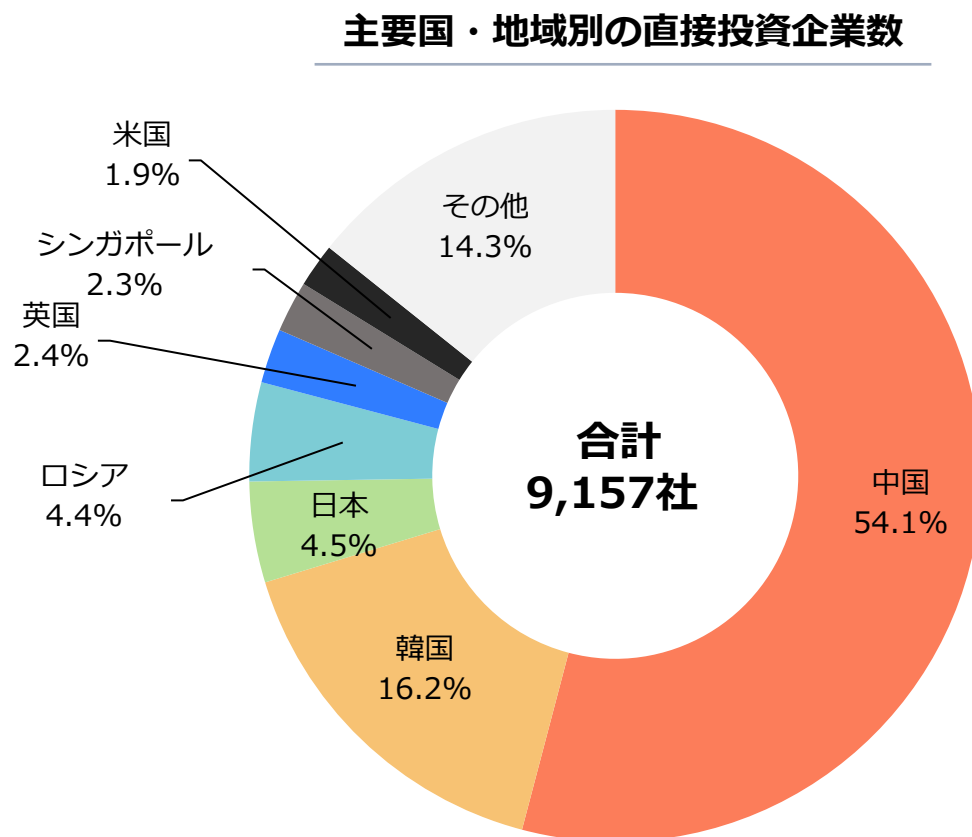
- 2025年3月末時点の対内直接投資額（累計）は338億ドルとなった。主要国・地域別ではオランダ、中国、シンガポール、香港、ルクセンブルクの上位5カ国・地域からの直接投資が255億ドルで全体の75.4%を占めた。日本からの直接投資額は10億174万ドルとなっている。

(100万ドル)



## 9 | 主要国・地域別直接投資企業数

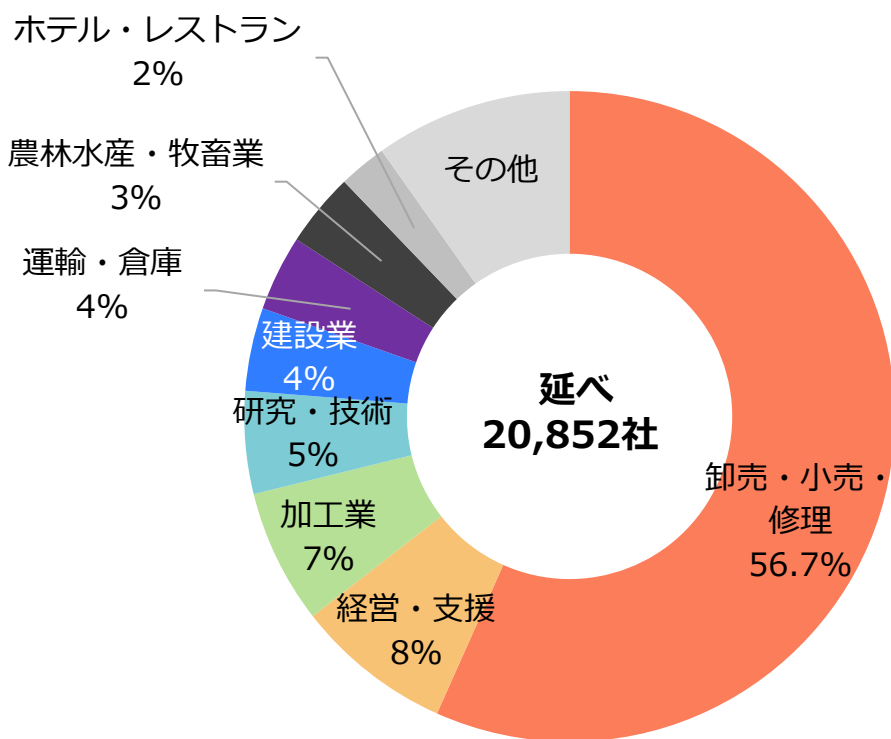
- 2023年3月時点の主要国・地域別の直接投資企業数は合計9,157社。このうち、中国が4,954社で、全体の54%を占めて最多となっている。次いで韓国（1,483社）、日本（408社）、ロシア（400社）、英国（220社）、シンガポール（207社）、米国（177社）の順となっている。



（注） 2023年3月現在。  
（出所） 経済開発省（モンゴル）

# 10 | 主要業種別直接投資企業数

- 経済開発省によると、2023年3月現在、直接投資企業を主要業種別に（累計）集計すると、**卸売・小売・修理が全体の約6割**を占める。



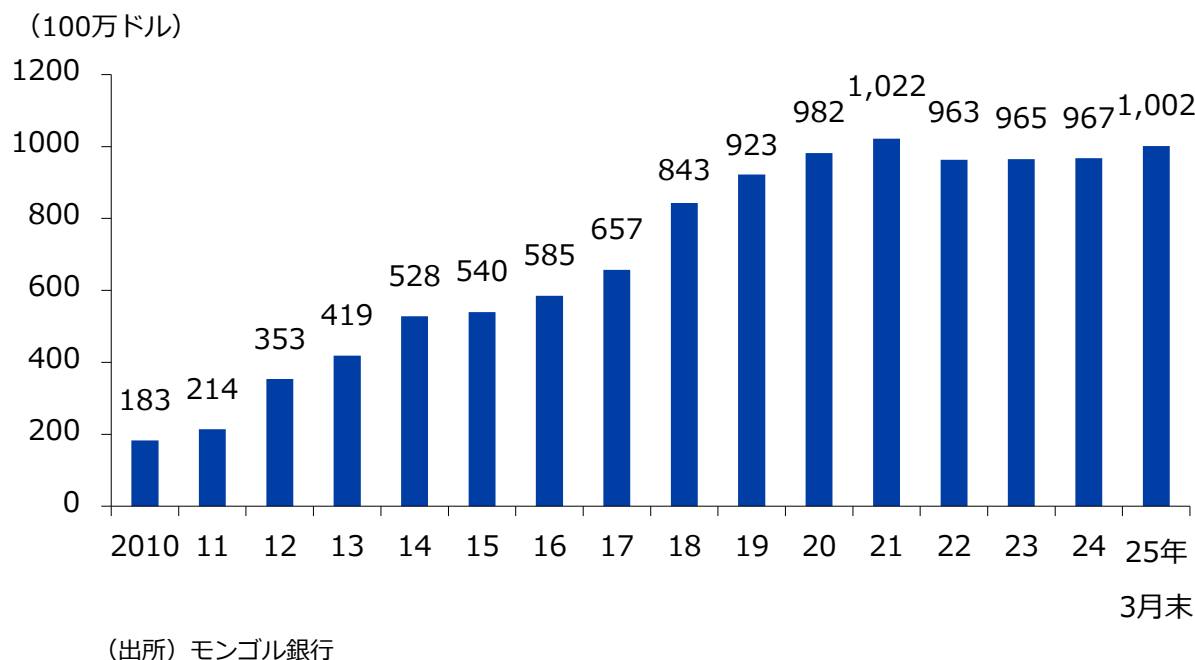
主要業種別の直接投資企業数（累計）

| 業種        | 投資企業数  |
|-----------|--------|
| 卸売・小売・修理  | 11,819 |
| 経営・支援     | 1,626  |
| 加工業       | 1,393  |
| 研究・技術     | 1,063  |
| 建設業       | 862    |
| 運輸・倉庫     | 784    |
| 農林水産・牧畜業  | 766    |
| ホテル・レストラン | 497    |
| その他       | 2,042  |
| 合計        | 20,852 |

(注) 2023年3月現在。複数業種の企業は重複集計。  
(出所) 経済開発省（モンゴル）

# 11 | 日本からの直接投資概況

- 2025年3月末における日本からの直接投資額（累計）は、10億174万ドルとなった。
- 日本からの主要投資分野は通信、銀行、製造、鉱業、鉱山機械・建設機械の販売、建設やエネルギーなどとなっている。



## モンゴル日本商工会会員企業名 (一部抜粋、順不同)

|                    |                         |
|--------------------|-------------------------|
| 伊藤忠商事              | 日本工営                    |
| 丸紅                 | シスメックス                  |
| 住友商事               | TDB Leasing             |
| UniGas             | 加藤運輸                    |
| 三井物産               | Apollo Building Service |
| MobiCom            | Mongolia                |
| 賛光精機               | 大正法律事務所                 |
| 三菱商事               | モンゴリア東横イン               |
| Azuma Shipping     | TOYOTA SALES            |
| Aizawa Mongolia    | MONGOLIA                |
| HIS Mongolia       | 電通データアーティストモン           |
| Transwest Mongolia | ンゴル                     |
| 岩田地崎建設             | Cominix                 |
| 原口総合法律事務所          | KOHJITSU MONGOLIA       |
| メガテック              | MJ Agritech             |
| ユニメディア             | New Ulaanbaatar         |
| HS Khan Resort     | International Airport   |
|                    | GMO-Z.com Mongolia      |

## 進出日系企業数：226社（2024年10月現在）

(出所) 外務省・海外進出日系企業拠点数調査（日本）

(注) 上記会員企業には駐在員事務所も含むため、必ずしもすべての企業がモンゴルへの投資を実施しているわけではない。

(出所) モンゴル日本商工会

# 12 | 日本企業の事業展開事例

- 企業数では貿易・外食産業、観光業、その他が多い。
- 最近では外食産業、ファッションへの投資があった。フランチャイズによる進出が増えている。

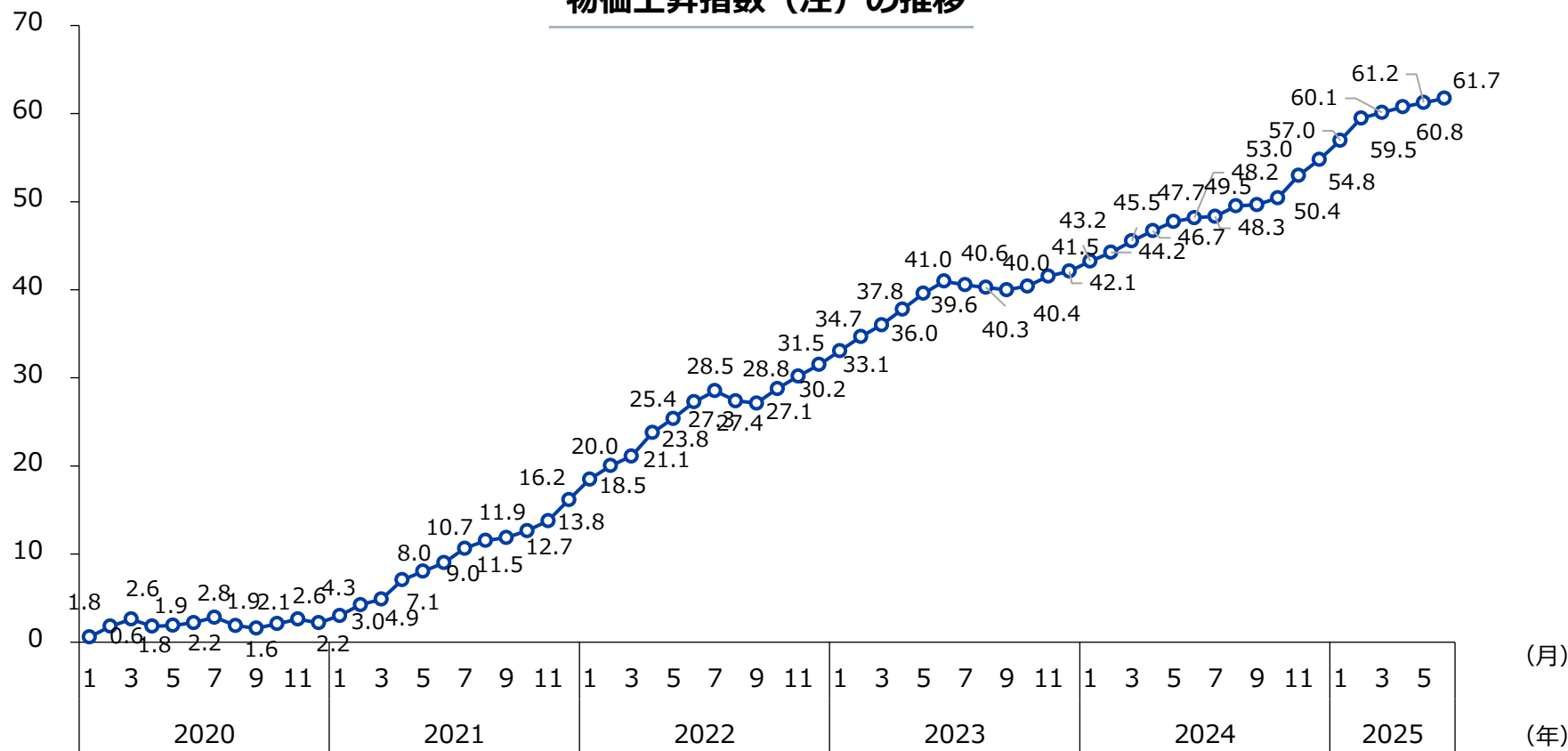
| 業種            | 企業名              | 事業内容                                     |
|---------------|------------------|------------------------------------------|
| IT、AI         | 電通デジタル           | AI                                       |
|               | GMOインターネット       | インターネットインフラ                              |
| 医療            | 富士フイルム           | 健診センターNURA                               |
| ファッション        | ジンスホールディングス      | 眼鏡専門店                                    |
| 教育・人材育成       | キャストリア           | モバイルラーニング                                |
| 再生可能<br>エネルギー | シャープ&重光商事        | ダルハン太陽光発電所10メガワット<br>ザミンウッド太陽光発電所15メガワット |
|               | ファームドウ           | モンナラン太陽光発電所12.7メガワット<br>農業、CO2クレジット取引    |
|               | テラスエナジー          | ツェツィー風力発電所50メガワット                        |
|               | 賛光精機             | スンベル太陽光発電所10メガワット                        |
|               | 京セラコミュニケーションシステム | ホブド・ナル太陽光発電所10メガワット                      |
|               | 日揮&日本ガイシ         | ボルフ太陽光発電所10メガワット+NAS蓄電池<br>3.6メガワット時     |
| ホテル           | 東横イン             | ビジネスホテル                                  |
| 外食            | 吉野家ホールディングス      | 牛丼チェーン                                   |
|               | マコトフードサービス       | ラーメンチェーン                                 |
|               | ギフトホールディングス      | ラーメンチェーン                                 |
|               | ホットパレット          | ステーキチェーン                                 |

## V. 物価・為替レート

# 1 | 物価（インフレ率）

- 2025年6月のインフレ率（全国）は前年同月比9.0ポイント上昇した。2019年末を100とする指数では61.7ポイント上昇となった。上昇の主な要因は食品・飲料（前年同月比19.2%）、住居・水道（同24.1%）の価格上昇である。

物価上昇指数（注）の推移

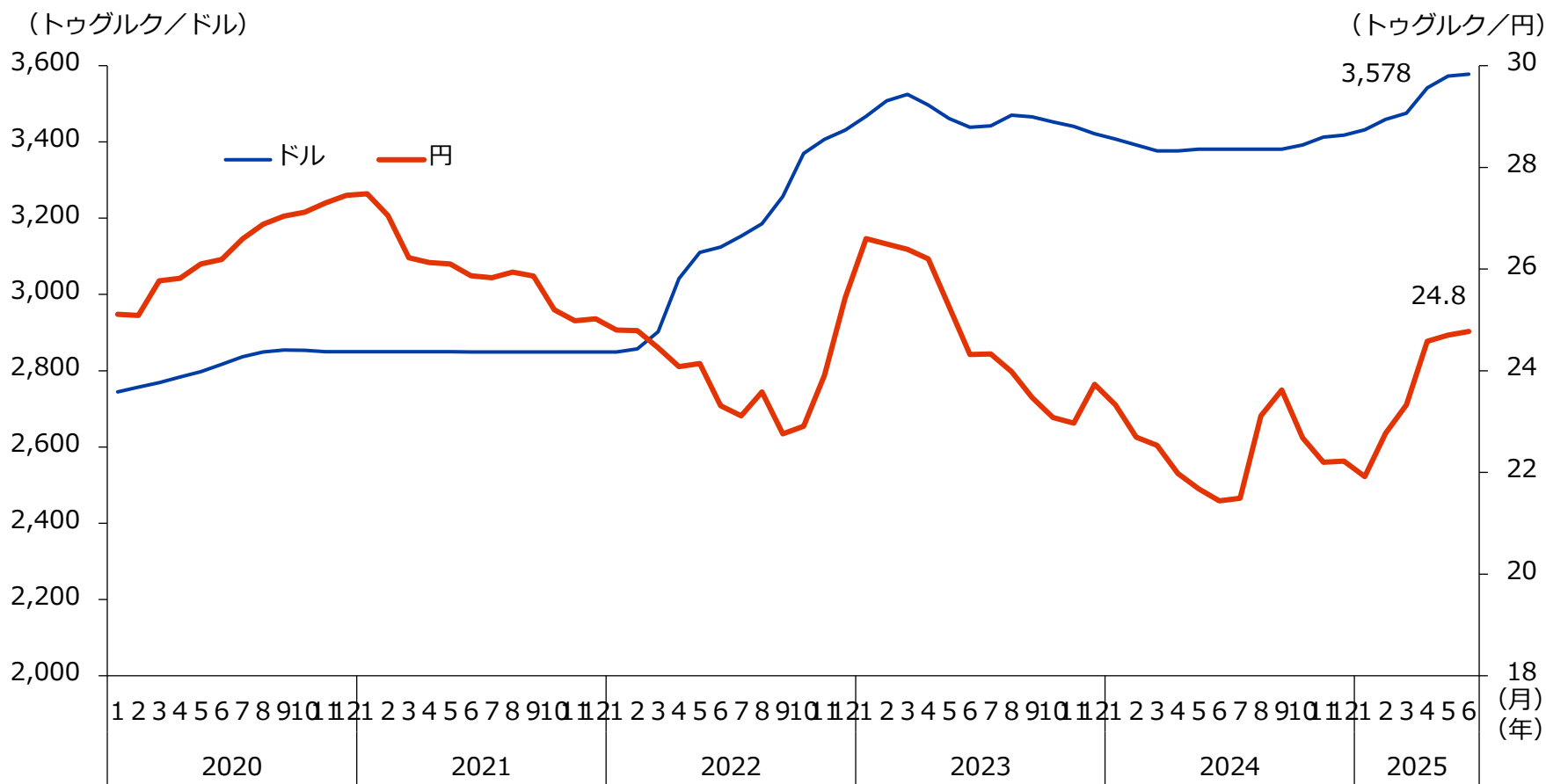


（注）2019年末を100とする指数。

（出所）国家統計局

## 2 | 対ドル・対円の為替レート

- 構造的な経常収支赤字が為替安の圧力となっており、2025年1～6月は対ドル・対円はともにトゥグルク安が進行した。

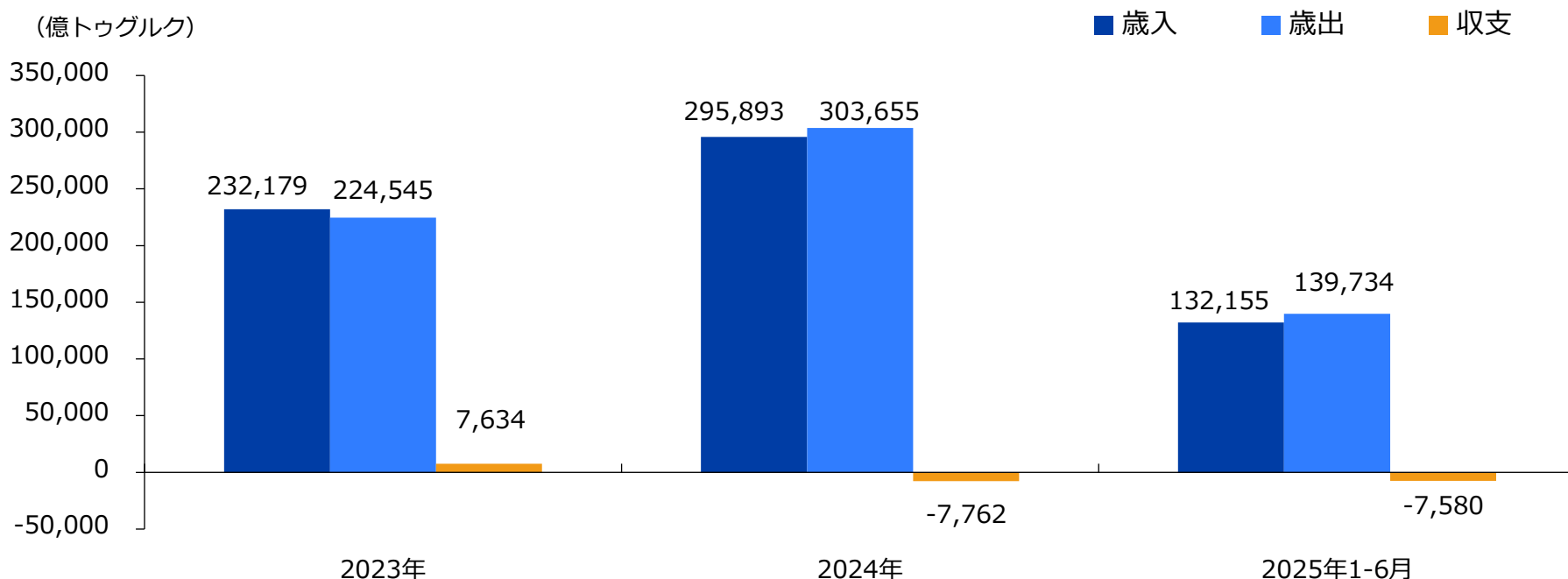


(出所) モンゴル銀行

## VI. 財政・金融

# 1 | 歳入・歳出の推移

- 2025年1～6月における政府の連結予算の均衡歳入は13兆2,155億トゥグルク、歳出は13兆9,734億トゥグルクとなった。財政収支（均衡収支）は、7,579億トゥグルクの赤字となった。
- 2024年は鉱山分野からの税収が当初予算を上回ったが、公共投資も増えたため赤字となった。2025年は鉱山分野の税収が落ち込んだため、予算見直しにより歳出削減を行った。



(注1) 2024年、2025年は速報値。

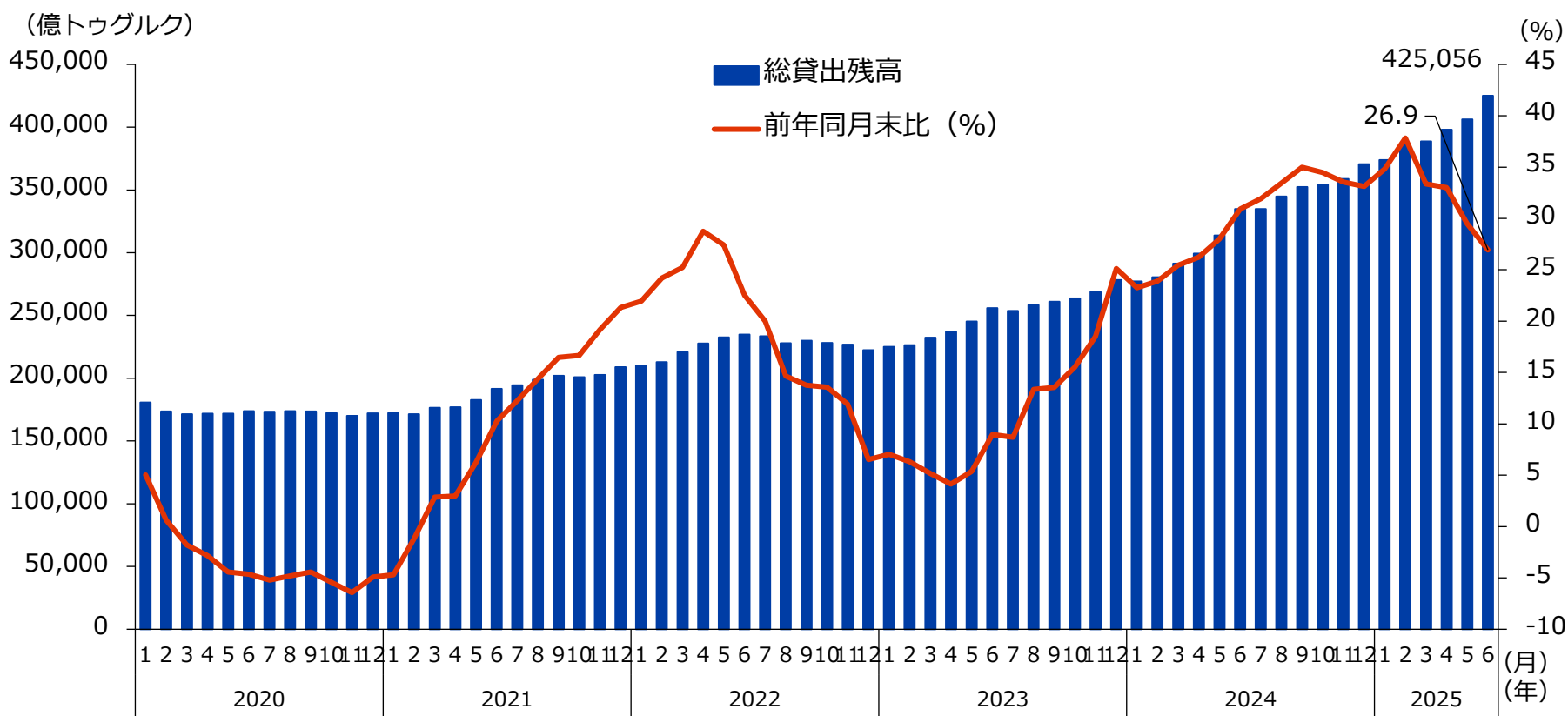
(注2) 「連結予算の均衡歳入」とは、主要な鉱物資源からの均衡収入と連結予算の基本歳入の合計額から当該予算年度の未来遺産基金への積み立て分を差し引いた額をいう。(財政安定化法4.1.5) <https://legalinfo.mn/mn/detail/503>

「連結予算の均衡収支」とは、連結予算の均衡歳入と連結予算の総歳出の差額をいう。(財政安定化法4.1.6) (同上)

(出所) 国家統計局

## 2 | 貸出残高

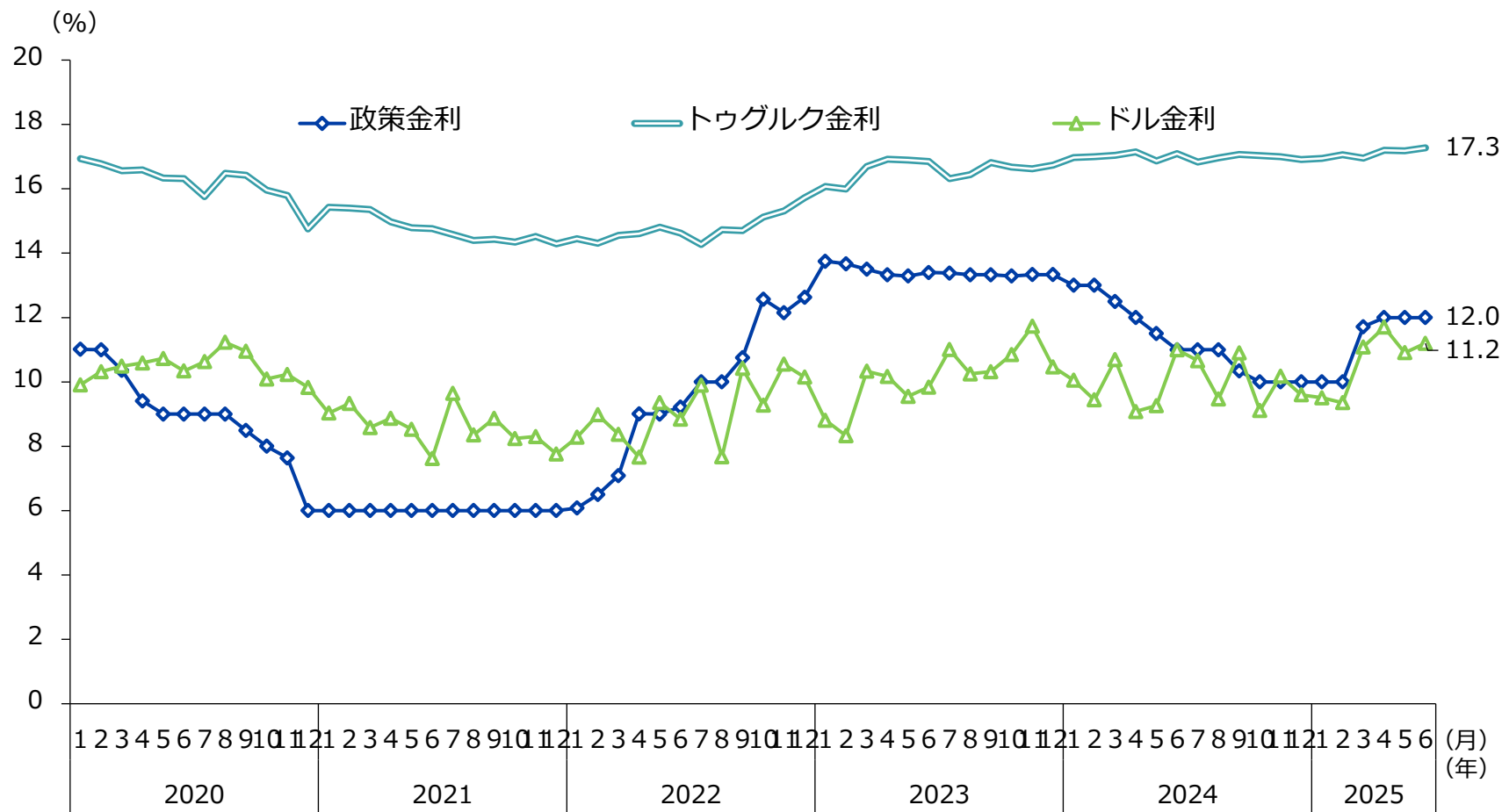
- 2025年6月末時点の総貸出残高は、前年同月末比26.9%増の42兆5,056億トゥグルクだった。
- 2025年2月以降、個人への貸出の伸びが前年同期比で鈍化しているため、全体の伸びも鈍化。



(出所) モンゴル銀行

# 3 | 貸出金利

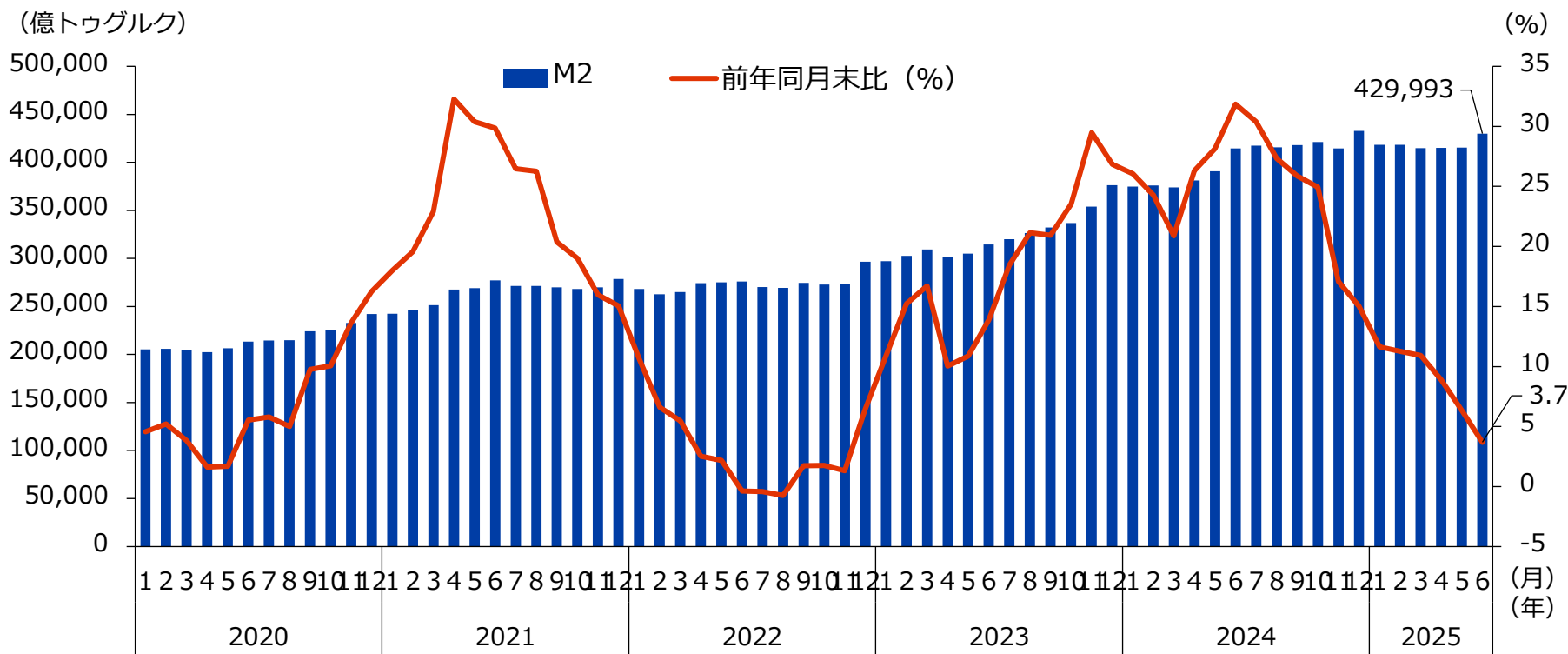
- 2025年6月の政策金利は年利12.0%。2024年にインフレ率が5%～8%台だったため政策金利は緩和傾向にあったが、2024年末以降9%を超えたため、2025年3月に政策金利を12%に引き締めた。
- 新規貸出金利はトゥグルクが17.3%、ドルが11.2%だった。



(出所) モンゴル銀行

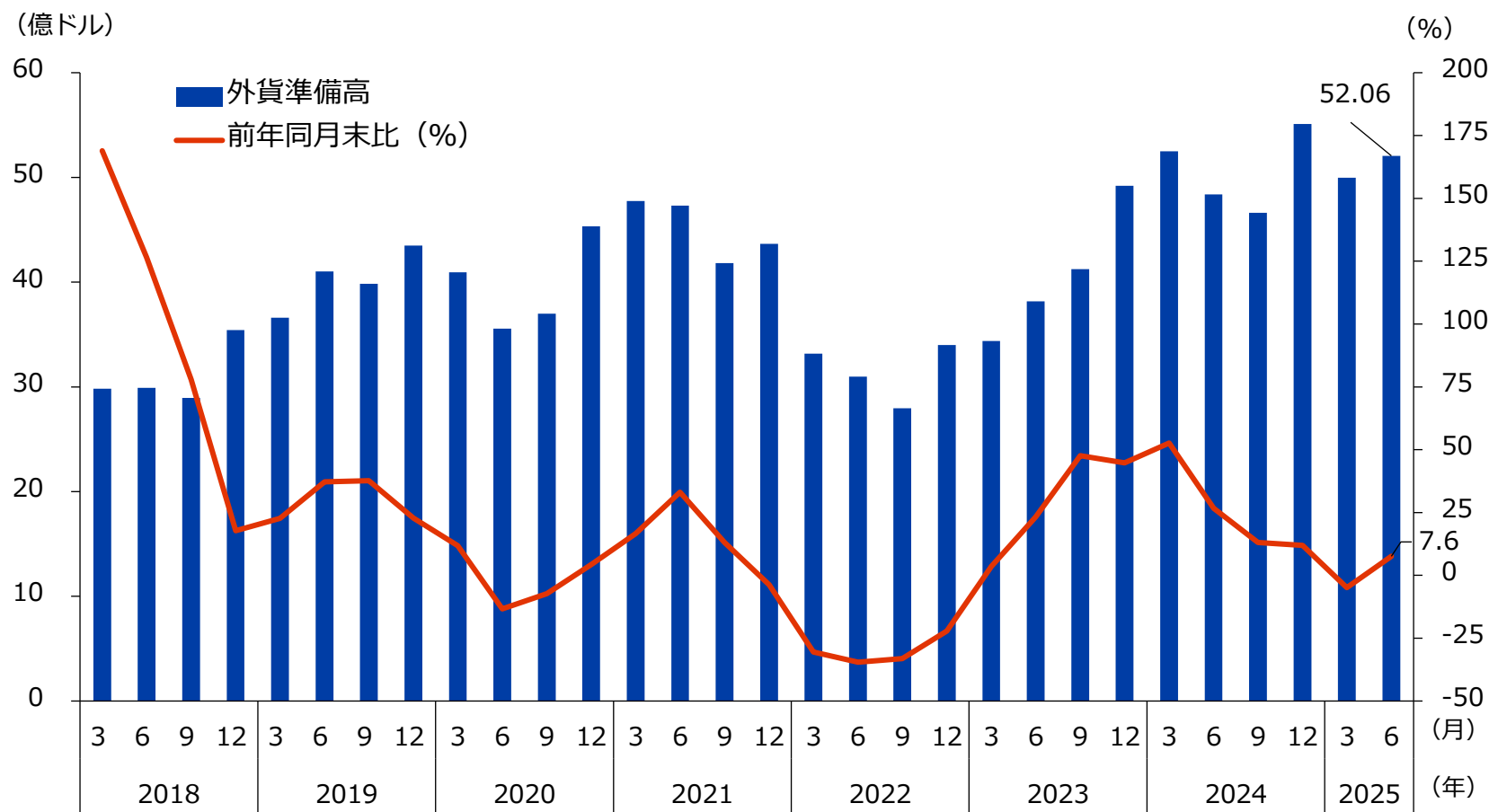
## 4 | M2の推移

- 2025年6月末時点のマネーサプライ（M2）は、前年同月末比3.7%増の42兆9,993億トゥグルク。
- 2024年後半以降、前年同月末比の増加率は鈍化している。



## 5 | 外貨準備高

- 2025年6月末時点の外貨準備高（グロス）は、前年同月末比7.6%増の52億607万ドル。
- 経常収支の赤字を金融収支（直接投資や外国からの資金調達）で補う構造になっている。



# レポートをご覧いただいた後、 アンケートにご協力ください。

(所要時間：約1分)

<https://www.jetro.go.jp/form5/pub/ora2/20250022>



## レポートに関するお問い合わせ先

日本貿易振興機構（ジェトロ）

調査部中国北アジア課



03-3582-5181



ORG@jetro.go.jp



〒107-6006

東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル6階

### ■ 免責条項

本資料で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本資料で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロは一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

禁無断転載